

ユーラシアを歩く会 行動報告書

The Trans-Eurasia Walking Journey Program

1. 計画コース概要

提出日:

地域分類	東アジア	区間番号	西日本8
国名	日本	実施期間	2011.3.22 ~ 3.26
計画区間	出発地 城崎温泉 知山	到着地 福	参加人数 1名

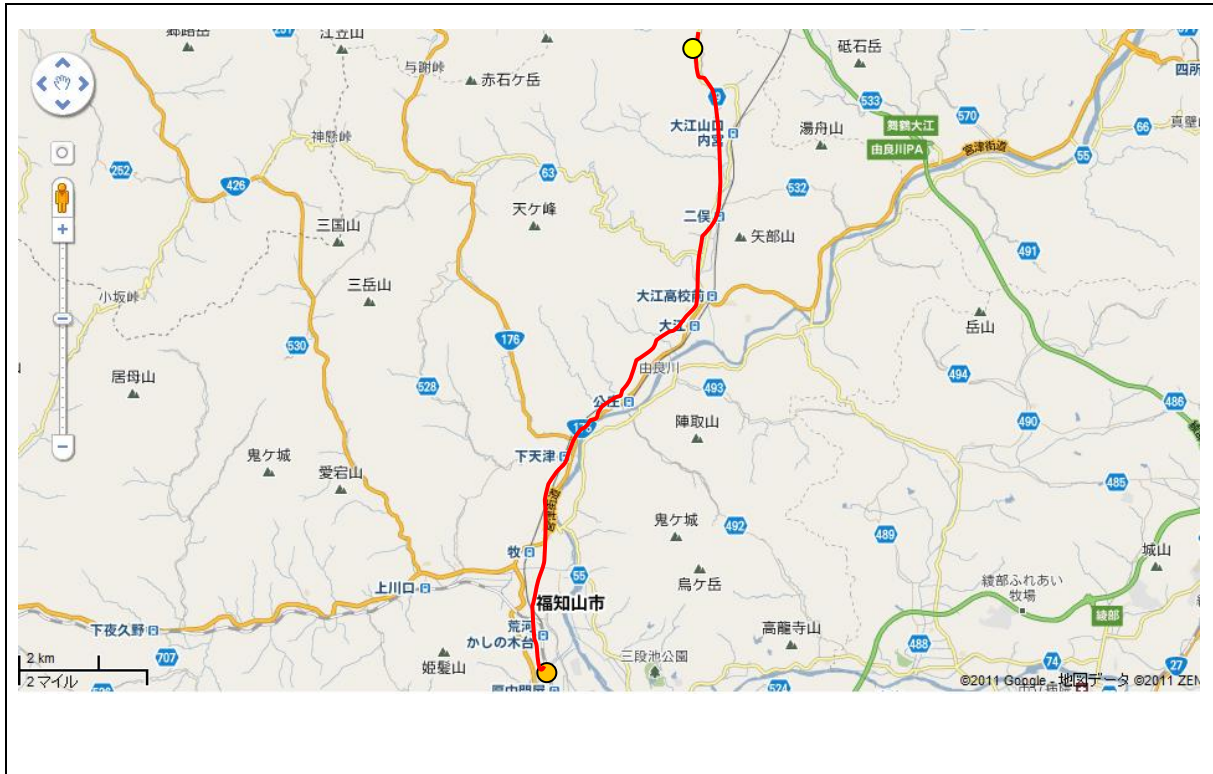
2. メンバー表

No	役割・分担	氏 名		行き	帰り
1	リーダー	安藤 潔	出発日	2011.3.22	2011.3.26
2			出発場所	船橋市	福知山駅
3			到着場所	城崎温泉駅	船橋市
4			使用便名	東海道新幹線 山陰線	山陰線、東海 道新幹線
5			航空会社	JR	JR

3. 現地での歩行結果

	年月日	国名	出発～到着	区間距離 Km	天候	気温 最低／最高
1日目	3月22日	兵庫県 京都府	城崎温泉～久美浜、小 天橋	15km	曇り 時々雨	5度/10度
2	3月23日	京都府	小天橋～丹後あじわいの 郷	20km	晴れ	5度/15度
3	3月24日	京都府	丹後あじわいの郷～天 橋立	20km	晴れ	5度/15度
4	3月25日	京都府	天橋立～大江山口内 宮駅そば平神社	20km	晴時々 小雪	5度/10度
5	3月26日	京都府	大江山口内宮駅そば 平神社～福知山駅	17km	晴時々 小雪	5度/10度
6						
7						





4. 見聞録

ルートの状況

3/22：4時40分船橋市の自宅出発、新幹線、山陰線を乗り継いで城崎温泉駅に12時着。まず旅の安全祈願と温泉寺にお参りに行く。寺は山の中腹にあり往復1時間の寄り道になってしまった。

13時、今日の目的地、久美浜湾の小天橋目ざし歩き始める。14時、気比の浜着。ここから十万分の一の道路地図にも出ている小道を通って標高150mほどの峠を越えれば小天橋は最短距離で、1.5時間で到着という予想である。が、しかし、峠の登り口の村で2, 3人に様子を聞くと、最近はあまり通る人もおらず道がどうなっているか不明とのこと。しかし、地図に道は載っているし、JPSも持っているし、ということで予定通り峠に向かう。田と里山の間の気持ちのよい細道である。14時50分、標高差50mほどの山並みのどこかが峠かな、と考えていると、突然それまでの舗装された小道が無くなり、山に突き当たる。かすかに道らしき痕跡はあるが、あちこちに倒木がある。おまけに小雨が降り出す。引き返そう、と決断する。

15時半、県道11号に出る。17時20分、三原峠、時々雨風が強くなる。

県道49号に入り、18時10分、小天橋（湊宮）の宿に到着。一時は今日の予定地点まで歩けないかと危惧したが、どうやら到着できる。

3/23：8時半、宿を出発。宿のある湊宮は日本海と久見浜湾に挟まれた細長い集落だが、夏は海水浴、冬はカニを売り物にした民宿街である。初めは日本海を左に見ながら県道を歩いていたが、右側の久見浜湾側に出てみると波打ち際になにやら白い物がある。近づいてみると、カキ殻の白である！誰かがカキを採った跡である。それからはカキを見つけながら歩く。採られた跡や小さいのは沢山あるが、食べられそうなのはなかなかない。見つけると殻を靴で蹴飛ばし、身を海水で洗って食べる。身が小さいせいかわかりやすくはなかったが自分で収穫したものは格別である。ずうっとこの道を歩いていたかったが、30分ほどで泣く泣く久見浜湾に別れをつげた。しばらく畑と松林の続く平坦な道に行く。

11 時、夕日が浦浜詰のスーパーで昼食を仕入れ、京都府の近畿自然歩道「五色浜と夕日ヶ浦をめぐるみち」を歩き出す。歩道といってもほとんどは県道 665 号で、2 箇所ほど海岸線に沿って遊歩道があったが、今回はパスして県道を歩く。浜詰の町を出ると田畑も漁港もなくなるが山の中に所々、村落がある。家に近づくとギッコンバタン、ギッコンバタンと音がする。このあたりは丹後縮緬の産地と聞いているので、その工場なのだろう。山の中なら地価も安いし、騒音も問題ない訳だ。

12 時半、標高 150m ほどの七竜峠で昼食。峠からは今日の出発地付近がよく見えた。

14 時、子午線最北端の塔：東経 135 度の日本最北端ということだが、私の JPS では 135 度 00 分 11.2 秒だった。00 秒の地点は塔(公園)を造るには不適當だし、135 度以下は四捨五入と考えれば妥当な場所である。

14 時半、海岸線を離れ、網野の町に入る。町の入り口にある日枝神社と浦島太郎の神社に参拝する。網野の町は意外に大きく、抜けるのに 30 分近くかかる。後は今夜の宿を目ざし、県道をひたすら歩く。

16 時 45 分、あじわいの郷ユーラピアホテル着。地震の影響か宿泊客は私一人ということだった。

3/24：9 時出発。2 時間ほどは低い山と里山の間の県道をあるく。11 時頃からは丹後峰山、大宮の平野部を歩く。途中、縁城寺、多久神社、大宮売神社（13 時昼食）を参拝。この寄り道は全部で 1 時間ほど。

14 時、森本という村落から、標高 250m 程の峠に向かう。山が細長く、天橋立を望む景勝地のためか 3 本の峠道があるが、今夜の宿への最短距離になる真ん中の道を選ぶ。山に入った途端に残雪、倒木が現れる。一瞬引き返そうかとも考えたが、車道なので道ははっきりしており、足跡も 2, 3 あるので先に進む（写真 4）。雪の少ないところを選び、倒木をくぐり長い時間歩いたような気がしたが、15 時に峠に着く。峠には 3 月 18 日(道路)開通予定と書かれていたが、雪が多く遅れているのであろう。峠からの下りは雪も少なく倒木もなかった。坂を下りきるとそこは天橋立が正面に見える岩滝町だった。

この日の最後は天橋立の松並木を海越しに見ながら海岸の遊歩道を歩いた。

17 時前、天橋立前の宿に到着。この日の夕食もカニ。

3/25：出発前にケーブルで傘松公園に行く。あいにく曇り空だが、高台から見る天橋立はやはり絶景である。また、股のぞきで見ると、空が下にあり松林が天にかかる橋のように見え、絶景度が何割かアップするらしい（写真 1）。

これでやっと日本三景を制覇したが、股のぞきの効用かやはり天橋立がピカイチのように思える。

写真 5 の左下地平線（○印）に見えるのが大江山だと思われる。はるか彼方のようにみえるが、今日の目的地はその麓である。ここで一句、

「股のぞき 橋の手前か 大江山」
なら、すぐ着くのだが。

8 時 45 分歩行開始。すぐに天橋立を渡り始める。天橋立は宮津湾と阿蘇海(内海)の間の幅 50m、長さ 4km 弱の砂州である。15 世紀に雪舟が描いた「天橋立図」を見ると阿蘇海への開口部は広く、橋には見えない。現在のような形になったのは江戸時代とのことである。大阪夏の陣で戦死した岩見重太郎の若い頃の仇討の場が天橋立にあったところを見ると、17 世紀には橋になっていたのかもしれない

い。

9時半、天橋立を渡り終える。もう少しゆっくり歩いて松林の中の遊歩道を楽しみたかったが、ついいつものペースで歩いてしまう。

宮津市内を通り府道（京都には県道は無いらしい）9号沿いの大江山の麓を目指す。

今日参拝した主な社寺、1.元伊勢 籠（この）神社 2.智恩寺 3.和貴宮神社。

どれも国宝、重文、彫り物がある古い格式のある社寺だった。

10時半、今日の宿、清輝楼の前を通ったので荷の一部を預ける。

11時45分～12時半：上喜多の公民館で昼食。3人の職員にユーラシア・ワンの事を話すと、早速ネットでワングルのH.P.にアクセスしてくれ、つい長居をしてしまう。また、公民館で頂いた普甲峠の古道マップは午後の歩きに非常に役立った。

公民館をでると府道9号は標高400mの普甲峠への登りになる。同時に府道沿いに良く手入れされている古道があり、古道マップを片手に歩く。峠手前の30分は石畳の上に雪の残る道となる（写真6）。

14時、普甲峠（大江山スキー場）。ここで、私がこれから向かう古道を来たハイカー10人ほどと出会い、情報を仕入れる。峠からの下りの古道にはいると、途端に残雪が多くなる。杉林の丈も高くおまけに小雪も舞い出し、薄暗くなる。古道が残雪に隠れて分かりにくい所もあるが、雪は堅くハイカーの付けたトレースが安心感を与えてくれる（写真7）。30分ほど歩いたところで府道に出たので、以後小雪の中、府道を歩くことにする。天気が良ければ右方向に大江山が見えるかもしれない、と期待していたがダメだった。

また、明日は大江山登山の予定だったが、天候が思わしくないこと、今年は残雪が多そうなことを考慮し、登山は諦めることにする。大江山に登ろうと思ったのは百人一首の

「大江山　　いく野の道の　　とほければ

まだふみをみず　　あまのはしだて」

を覚えていたからである。そこで、登山の代わりに一首読む、

「橋立を　　ともに渡りし　　春風よ

まだ雪かたし　　大江の古道は」

分かれ道では酒呑童子が「大江山はこっちだよ、うまい酒もあるよ」と手招きしていたが（写真8）、大江山は諦め、今夜の格調高い宿めざし歩く。

16時、タンゴ鉄道大江山口内宮駅（おおえやまぐちないくえき）手前2kmの平神社からバス、鉄道と乗り継いで宮津市まで戻り、元禄年間創業で野口雨情、河東碧梧桐などの文人、墨客に愛された宿、清輝楼を今夜の宿とする。というわけで、この夜は岳人から文人となった訳である。

3/26：9時45分、昨日はバスで5分の所を、徒歩で40分かけて戻り、昨日の終点、平神社から歩きはじめる。夜中に雪が降ったようで、朝のうち樹は雪化粧をしていた。峠を下るにつれまた人家が増えてくるが、府道9号とは別に生活道路がある所が多く、安心して歩ける。

12時、国道175号に入る。時折雪が舞い散る中をひたすら歩く。福知山市内に入ってから駅までが長く感じた。

参拝した社寺。1.天岩戸神社 2.（元伊勢神宮内宮）皇大（こうだい）神社 3.

是社神社 15 時 40 分、福知山駅に到着、歩き終える。写真を撮り、3 分後には特急に飛び乗る。 10 時半、自宅着。
自然環境：高い山はないが、平野は少ない。
人々の生活：古い社寺が多い。元伊勢神宮など特に神社が多い。
食べ物・酒・その他：カニの季節だったのでカニを堪能した。

5. 人々との交流の記録

宮津市上喜多の公民館で昼食を摂りながら職員 3 名と色々話をする。ユーラシア・ワンに興味を持ってくれ、早速ワングルの H.P を見てくれた。また、その日に歩く予定の古道の地図を頂き、重宝した。
--

6. 健康・安全面の記録

足に肉刺ができ、すこし痛かったが歩行に影響なし。他は健康。

7. 総費用

個人	渡航費	2 万円
	宿泊費	6 万円
	食費	1 万円
	その他	1 万円
	合計	10 万円

グループ		
	合計	

8. 記録写真・ビデオなど

以下、上から(1)～(8)







